

ウィークリー・マーケット・ ダイレクション (2024年8月26日～8月30日)



Trust must be earned



“金は史上最高値圏にあるものの、地政学的緊張が高まり、政府が過剰な債務を抱えるなか、依然として安全資産や有力な分散投資先として機能すると考えます。”

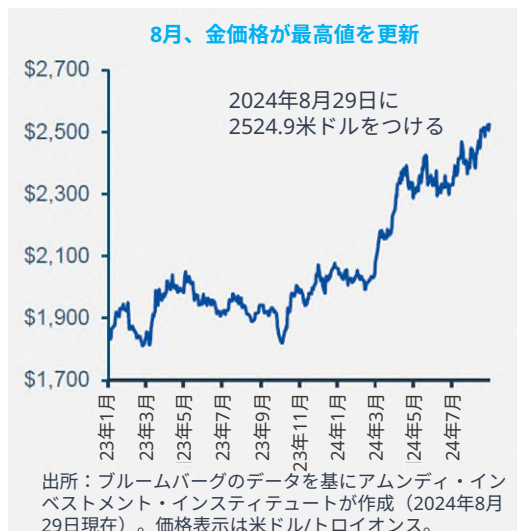
モニカ・ディフェンド
アムンディ・インベストメント・インスティテュート・ヘッド

金の輝きは衰えず

金価格は8月に史上最高値を更新し、年初来でS&P500をアウトパフォーマンスしています（8月29日時点）。

その背景としては、地政学的な緊張やFRBの利下げ期待、中国からの需要など複数の要因が挙げられます。

金価格の高さを踏まえると短期的にボラティリティが高まる可能性はあるものの、長期的には引き続き魅力があります。



中東情勢やロシアのウクライナ侵攻による地政学的緊張が続くなか、金（ゴールド）は安全資産としての魅力から、8月に最高値を更新しました。また、足元のドル安（金は米ドル建てで取引される）や米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ期待も地合いを押し上げる格好となりました。米国国債の利回り低下も、非利回り資産である金の保有を促す誘因となります。金価格が長期的に下支えされている背景には、米国と欧州における巨額の公的債務と過剰な財政赤字（政府の支出が収入を上回る状態）があると考えられます。どちらの要素も政府保証の通貨を下押しする効果があります。結果として投資家の間では、長期的な価値の保存手段として安全性の高い金に逃避先を求める動きが高まっています。

実行可能な投資アイデア



金投資

金をはじめとする貴金属は、地政学的緊張が高まる局面において、ポートフォリオに安定をもたらす可能性があります。

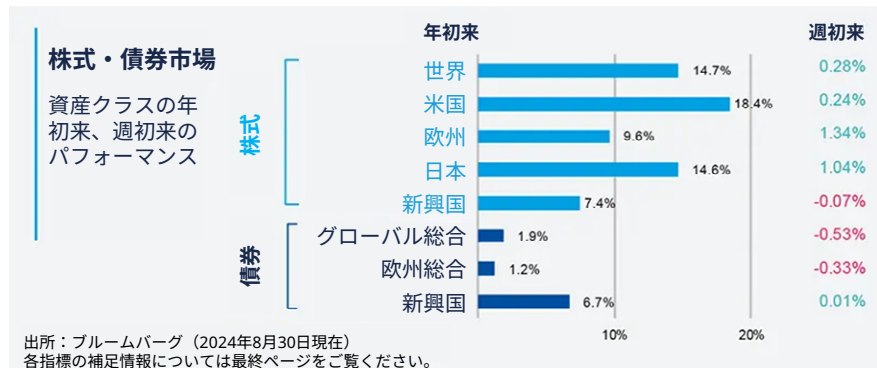


マルチアセット

金などの資産に分散投資できるマルチアセット投資を行うことで、持続可能な長期リターンを生み出せる可能性があります。*

今週の市場動向

グローバル株式は、FRBや欧州中央銀行（ECB）の利下げ期待を背景に上昇しました。第2四半期の米国経済成長率が上方修正されたことで、利回りは押し上げられました。コモディティでは、石油輸出国機構（OPEC）プラスの過剰供給や中国の需要低迷への懸念から原油価格が下落しました。



国債利回り

2年物、10年物国債利回りと直近1週間の変化

国	2年物	10年物
米国	3.92 ▲	3.90 ▲
ドイツ	2.39 ▲	2.30 ▲
フランス	2.62 ▲	3.02 ▲
イタリア	2.90 ▲	3.70 ▲
英国	4.10 ▲	4.01 ▲
日本	0.36 ▼	0.89 ▼

出所：ブルームバーグ（2024年8月30日現在）
直近1週間の変化を示したものを。補足情報については最終ページをご覧ください。

コモディティ、為替、短期金利

金 (ゴールド)	原油	ユーロ/米ドル	米ドル/日本円	英ポンド/米ドル	米ドル/人民元	EURIBOR 3ヵ月	T-Bill 3ヵ月
2503.39	73.55	1.10	146.17	1.31	7.09	3.49	5.12
-0.4%	-1.7%	-1.3%	+1.2%	-0.7%	-0.4%		

出所：ブルームバーグ（2024年8月30日現在）
直近1週間の変化を示したものを。補足情報については最終ページをご覧ください。

各地域のマクロ経済動向

南北アメリカ



米国消費者信頼感は一見すると改善

コンファレンス・ボードが発表した8月の消費者信頼感指数は上昇しました。足元の景況感や今後の見通しに対する消費者の見方も同じく改善したものの、全体的には低水準が続いています。基調的な項目からも雇用市場への見方が継続的に悪化していることが示唆されます。回答者の中では仕事を見つけにくいとの見方が増加する一方で、仕事が十分にあるとの見方は減少しています。

欧州



ユーロ圏の7月の銀行融資は低水準

ユーロ圏の7月の銀行融資は低水準でした。これはつまり、第3四半期は域内全体で需要の下支えが弱まるということです。7月の消費者信用残高と住宅ローン残高はどちらも増加しましたが、新規貸出額は依然としてコロナ禍前の水準を大幅に下回っています。企業向け融資においても、信用創造が活発でないことが伺われます。しかし、長期融資の見通しは改善しつつあり、おぼろげながら投資が回復する兆しが見えます。

アジア



インドネシアの対外基礎収支は悪化

インドネシアでは、海外直接投資の伸びが鈍化したことで、2024年6月30日までの3ヵ月間の基礎収支が悪化しました。経常収支赤字（輸入額が輸出額を超過する状態）の拡大は鈍化したものの、証券投資は同期間中に大幅な伸びを見せました。その結果、ルピアは上昇し、一部のアジア通貨への投資意欲が再燃しています。



備考

ページ2

株式・債券市場（チャート）

出所：ブルームバーグ。各市場の指標として次の指数を使用しています。世界株=MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（米ドルベース）、米国株=S&P 500（米ドルベース）、欧州株=欧州 Stocks 600（ユーロベース）、日本株=TOPIX（円ベース）、新興国株=MSCI新興国（米ドルベース）、グローバル総合=ブルームバーグ・グローバル総合（米ドルベース）、欧州総合=ブルームバーグ欧州総合（ユーロベース）、新興国債券=JPモルガンEMBI グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）

すべての指数はスポット価格で計算されており、手数料および税金控除前の数値となっています。

国債利回り（テーブル）、コモディティ、為替、短期金利

出所：ブルームバーグ（2024年8月30日現在）。チャートではグローバル債券はブルームバーグ・グローバル総合債券インデックス、グローバル株式はMSCIワールド（両指数とも現地通貨ベース）で示されています。

*分散投資は利益を保証するものでも、損失を防止するものでもありません。

IMPORTANT INFORMATION

This document is solely for informational purposes.

This document does not constitute an offer to sell, a solicitation of an offer to buy, or a recommendation of any security or any other product or service. Any securities, products, or services referenced may not be registered for sale with the relevant authority in your jurisdiction and may not be regulated or supervised by any governmental or similar authority in your jurisdiction.

Any information contained in this document may only be used for your internal use, may not be reproduced or disseminated in any form and may not be used as a basis for or a component of any financial instruments or products or indices.

Furthermore, nothing in this document is intended to provide tax, legal, or investment advice.

Unless otherwise stated, all information contained in this document is from Amundi Asset Management SAS and is as of **30 August 2024**. Diversification does not guarantee a profit or protect against a loss. This document is provided on an “as is” basis and the user of this information assumes the entire risk of any use made of this information. Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance analysis, forecast or prediction. The views expressed regarding market and economic trends are those of the author and not necessarily Amundi Asset Management SAS and are subject to change at any time based on market and other conditions, and there can be no assurance that countries, markets or sectors will perform as expected. These views should not be relied upon as investment advice, a security recommendation, or as an indication of trading for any Amundi product.

Investment involves risks, including market, political, liquidity and currency risks.

Furthermore, in no event shall any person involved in the production of this document have any liability for any direct, indirect, special, incidental, punitive, consequential (including, without limitation, lost profits) or any other damages.

Date of first use: **30 August 2024**.

Doc ID : 3826791

Document issued by Amundi Asset Management, “société par actions simplifiée”- SAS with a capital of €1,143,615,555 - Portfolio manager regulated by the AMF under number GP04000036 - Head office: 90-93 boulevard Pasteur - 75015 Paris - France - 437 574 452 RCS Paris - www.amundi.com

Photo credit: ©iStock/Getty Images Plus

MSCI Disclaimer available [here](#)

当資料は、アムンディ・インベストメント・インスティテュートが一般・参考情報の提供を目的として作成した資料を、アムンディ・ジャパン（以下、弊社）が一部翻訳したものです。当資料は、当資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入・売却の勧誘を目的としたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料中に記載したアムンディ・インベストメント・インスティテュートの見通し、予測、予想意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。当資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。弊社の許可なく、当資料を複製または再配布することはできません。当資料中に引用した各インデックス（指数）の著作権・知的財産権及びその他一切の権利は、各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利及び発表を停止する権利を有しています。

商号等：アムンディ・ジャパン株式会社（金融商品取引業者） 関東財務局長（金商）第350号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

(3833054)